

平成 26 年度

## 大阪医科大学医師会総会議事録

大阪医科大学附属病院中央検査部／書記 村尾 仁

日時：平成26年6月9日(月)18：00～19：00

場所：大阪医科大学 第2会議室（総合研究棟12階）

出席：米田会長、花房副会長、森脇副会長、梶本理事、上杉理事、萩森理事、村尾理事、石田評議員、樋口評議員、浮村評議員、内山評議員、岡田評議員、西本評議員、根尾評議員、上田評議員、臼田会計、玉井会員、藤原会員、大道会員、田辺会員、富岡会員、伊井会員（敬称略）

22名出席、239名委任状 計261名  
会員数489の過半数245を超えているので、会議成立

議長：森脇副会長

会長挨拶：

日頃から医師会活動にご協力いただきありがとうございます。大学医師会の役割は群市区医師会の役割とは異なりますが、共通の課題については、北摂の高槻市・茨木市・摂津市の医師会をはじめとする府下の医師会と協力をしていきたいので、これからも、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

### 1. 平成25年度事業報告（米田会長）

#### 1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が493名（平成25年5月31日現在）、研修医も新たに10数名加入した。会員の入

れ替わりが激しいが、前年同日と同数となった。研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、大阪府医師会西本理事が医師会の役割や医賠償保険等について説明し、勧誘を行った。大阪府医師会主催の歓迎会には、50名近くの研修医が参加し、大阪市立大学医学部に次いで多かった。日本医師会生涯研修制度は、医師免許生涯交付のために医師が自主的にしっかり研修していることを示す大切な制度である。研修会参加時には、必ず大阪府医師会生涯研修チケットを提出するよう、大阪府医師会からも強く求められている。

#### 2) 大阪医科大学医師会の学術活動

「大阪医科大学医師会報」を2号発行した。会報を発行している大学医師会は数少なく、当医師会の特徴でもあるので続けていきたい。第40号（9月15日発行）は「各科における現代のめまい診療」を、第41号（3月15日発行）では「今、がん診療を考える—がんセンターの取り組み」を特集として掲載した。学会等助成は、平成24年度に選考した平成25年度分5学会に各10万円計50万円を助成し、6月10日に開催した大阪医科大学医師会総会内で受賞式を行った。10月に平成26年度分の公募を行い、12月に選考を行い、5学会に助成することを決定した。

北摂四医師会医学会総会が、6月15日（土）に大阪医科大学臨床第Ⅱ講堂で開催され、特別講演1題、一般演題10題の発表

があった。北摂四医師会分科会は、役割を果たして閉会や休会している分科会がある一方、「北摂四医師会運動器疾患研究会」が新設され分科会数は19となり、研究会を計9回開催した。産業医講習会も3回開催した。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックは、ブロック委員会4回開催し、積極的に活動した。北摂四医師会医学会総会一般演題の中から優秀演題賞を3題選出して5万円ずつ賞金を授与した。1月11日に開催した第2ブロック研修会では、高槻市医師会理事の中島立博先生が「高槻市医師会及び三島医療圏地域連携パスの現状」講演を行い、29名の参加があった。

### 3) 大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

大阪府医師会の郡市区等医師会長協議会や代議員会、各種部会や委員会に積極的に参加した。11月6日に在阪5大学医師会ならびに2行政医師会役員と勤務医部会役員との懇談会が開催され、当医師会から3名の理事が出席し意見交換を行った。

全国大学医師会連絡協議会が6月23日に東京医科歯科大学で開催された。全国的な組織になっていないので、まだ組織として脆弱である。日本医師会会員の半数は勤務医で、その中でも大学医師会の活動は特殊なので、今後の活動に期待する。

## 2. 平成25年度会計報告・会計監査報告 (臼田会計)

全会一致で承認された。

## 3. 平成26年度事業計画(米田会長)

基本的には、昨年度通り事業を進めていく。

### 1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が489名(平成26年5月31日現在)

となった。4月1日に開催された研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、大阪府医師会西本理事が医師会の役割や医賠責保険等について説明し、勧誘を行った。今年度は、医賠責保険加入状況調査を実施する。

### 2) 大阪医科大学医師会の学術活動

例年通り、「大阪医科大学医師会報」(年2回発行)、会報38号は特集として「感染対策の地域ネットワーク」を掲載する予定である。今年度は冊子体を発行するが、印刷費と郵送費等経費節減に向けて、数年後の電子化も視野に入れて検討していく。学会等助成金は、昨年度選考した5学会に各10万円計50万円を助成し、平成27年度助成公募を10月1日より1ヵ月間行う。北摂四医師会医学会は、6月7日(土)に第23回医学会総会が茨木市医師会の当番で実施される。各分科会は、年1回以上研究会を行う。大阪府医師会勤務医部会第2ブロックでは、昨年度に引き続き積極的に活動を進めている。北摂四医師会医学会総会一般演題優秀演題賞1題を選考し、各5万円の褒賞を出す。また、第2ブロック研修会を1月10日(土)に予定している。今年度より大阪府医師会勤務医部会第2ブロック事務局を高槻市医師会に移行し、大阪医科大学医師会は会計を担当する。

### 3) 在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

在阪5大学医師会との懇談会への参加はもとより、高槻市・茨木市・摂津市医師会との連携を深めていく。例年通り、大阪府医師会郡市区等医師会長協議会、大阪府医師会代議員会、大阪府医師会各種委員会、ならびに全国大学医師会連絡協議会等にも参加する。

#### 4. 平成26年度予算案（臼田会計）

臼田会計より前年度と同じ事業を展開するための予算案の提示があった。単年度で見ると赤字であり、来年度以降も同等の支出を続けると数年で資金が枯渇する可能性が示唆された。日本医師会、大阪府医師会の補助金額ほぼ無くなって以来、単年度では、200万円程度の赤字となっている。今後の5年ほどかけて、事業を縮小するか、収入を確保するか、策を講じる必要がある。今年度予算案は、全会一致で承認された。

#### 5. その他

##### 1) 医師賠償責任保険加入状況調査について

医師にとって賠償責任保険に加入することは、自分で身を守るために必要なことである。にもかかわらず、加入の必要性を感じていない医師が少なくない。勤務先が1人医療法人の場合が心配である。

今回は、2種類の調査を考えている。まず1つ目は、医師会に加入している医師本人に、①医賠責保険に加入しているかどうか、②勤務先が医賠責保険に加入している

か、について今年度中に調査を行う。次に、大阪医科大学附属病院の関連病院に対する調査を行う。関連病院は、ほぼ加入していると思われるが、念のために、調査を行う。調査先のリストは、地域連携室に依頼する。

##### 2) 後援名義について

大阪府医師会では、郡市区等医師会と学会等からの依頼を受けて後援名義を貸している。当医師会は、府医を参考にして、依頼があった際には、会長・副会長で内容を吟味して、判断することとする。

##### 3) 女性医師の労働環境の整備について

保育所利用条件の緩和が必要である。せっかく良い制度でも条件がきついと意味がない。医師会として、病児保育を推進するなど、何か助言や意見を述べて欲しい。大阪府医師会勤務医部会 WG では、啓発活動など講演会も活発に行っている。

##### 4) 平成26年度学会等助成贈呈式

採択された5題について10万円の目録を贈呈した。

以上